



高度なモニタリング

- [サイト ダッシュレットで使用されるデータ ソースとは \(1 ページ\)](#)
- [WAN 最適化の有効化 \(3 ページ\)](#)

サイト ダッシュレットで使用されるデータ ソースとは

Cisco Prime Infrastructure は、NAM、NetFlow、NBAR、Cisco Medianet、PerfMon、Performance Agent などのさまざまなソースからの情報を処理します。次の表に、Prime Infrastructure で使用されるサイト ダッシュレットに関するデータのソースを示します。

表 1: サイト ダッシュレット データ ソース

ダッシュレットの名前	NAM	Cisco Medianet	NetFlow	PerfMon	Performance Agent
アプリケーション使用状況の概要 (Application Usage Summary)	y	y	y	y	y
上位Nのアプリケーショングループ (Top N Application Groups)	y	y	y	y	y
上位Nのアプリケーション (Top N Applications)	y	y	y	y	y
アラーム数上位Nのアプリケーション (Top N Applications with Most Alarms)	y	y	y	y	y
上位Nのクライアント (送受信) (Top N Clients (In and Out))	y	y	y	y	y
上位NのVLAN (Top N VLANs)	y	—	y	y	—
パケット損失がワーストNのRTPストリーム (Worst N RTP Streams by Packet Loss)	y	y	—	—	—
トランザクション時間がワーストNのクライアント (Worst N Clients by Transaction Time)	y	—	—	y	—

次の表に、Prime Infrastructure によって生成されるアプリケーション固有のダッシュレットを示します。

表 2: アプリケーション固有のダッシュレット データソース

ダッシュレットの名前	NM	Cisco Medianet	NetFlow	R	NBAR2
アプリケーション設定 (Application Configuration)	y	y	y	y	y
アプリケーションART分析 (Application ART Analysis)	y	—	—	y	—
アプリケーション サーバ パフォーマンス (App Server Performance)	y	—	—	y	—
アプリケーション トラフィック分析 (Application Traffic Analysis)	y	y	—	y	y
上位Nのクライアント (送受信) (Top N Clients (In and Out))	y	—	—	y	—
トランザクション時間がワーストNのクライアント (Worst N Clients by Transaction Time)	y	—	—	y	—
トランザクション時間がワーストNのサイト (Worst N Sites by Transaction Time)	y	—	—	y	—
KPIメトリックの比較 (KPI Metric Comparison)	y	y	—	y	—
DSCP 分類 (DSCP Classification)	y	—	y	—	—
一定期間のクライアント カウント (Number of Clients Over Time)	y	—	y	—	—
一定期間のトップNのアプリケーショントラフィック (Top Application Traffic Over Time)	y	—	y	—	—
上位Nのアプリケーション (Top N Applications)	y	—	y	y	—
上位Nのクライアント (送受信) (Top N Clients (In and Out))	y	—	y	y	—
平均パケット損失 (Average Packet Loss)	y	y	—	—	—
クライアントのカンバセーション (Client Conversations)	y	—	y	—	—
クライアント トラフィック (Client Traffic)	y	—	y	—	—
IPトラフィックの分類 (IP Traffic Classification)	y	—	y	—	—
上位Nのアプリケーション (Top N Applications)	y	—	y	—	—

ダッシュレットの名前	NM	Cisco Medianet	NetFlow	R	NBAR2
DSCP 分類 (DSCP Classification)	y	—	y	—	—
RTPカンバセーションの詳細情報 (RTP Conversations Details)	y	y	—	—	—
上位NのRTPストリーム (Top N RTP Streams)	y	y	—	—	—
音声コールの統計情報 (Voice Call Statistics)	Y	—	—	—	—
ジッターがワーストNのRTPストリーム (Worst N RTP Streams by Jitters)	y	y	—	—	—
MOSがワーストNのRTPストリーム (Worst N RTP Streams by MOS)	y	—	—	—	—
MOSがワーストNのサイト (Worst N Sites by MOS)	y	—	—	—	—
KPIがワーストNのサイト間接続 (Worst N Site to Site Connections by KPI)	y	y	—	y	—

関連項目

- Medianet NetFlow の有効化
- NetFlow と Flexible NetFlow の有効化

WAN 最適化の有効化

Cisco Wide Area Application Services (WAAS) デバイスとソフトウェアは、複数サイトのアプリケーション全体での高品質な WAN エンドユーザエクスペリエンスを保証するのに役立ちます。ネットワークに WAAS を展開するためのさまざまなシナリオについては、「WAAS 展開での Cisco NAM ハードウェアの使用」を参照してください。

候補サイトで WAAS 変更を展開したら、[Dashboards] > [Performance] > [WAN Optimization] の順に選択して、最適化の投資効果を検証することができます。このダッシュボードから、[マルチセグメント分析の表示 (View Multi-Segment Analysis)] をクリックして、WAAS に最適化された WAN トラフィックをモニタすることができます。[マルチセグメント分析 (Multi-Segment Analysis)] 表示では、次の項目を選択できます。

- 個々のクライアント/サーバセッションを確認するための [カンバセーション (Conversations)] タブ。
- 集約されたサイト トラフィックを確認するための [サイト間 (Site to Site)] タブ。

次の表に、主要な WAAS モニタリング ダッシュレットの説明を示します。

表 3: 主要な WAAS モニタリング ダッシュレット

ダッシュレット	説明
平均同時接続数（最適化済み対パススルー）（Average Concurrent Connections (Optimized versus Pass-through)）	指定された期間の同時クライアントおよびパススルー接続数の平均をグラフ表示します。
マルチセグメント分析（Multi-segment Analysis）	カンパセーション内またはサイト間の複数のセグメントにわたる WAAS トラフィックを表示します。
マルチセグメントネットワーク時間（クライアント LAN - WAN - サーバ LAN）（Multi-segment Network Time (Client LAN-WAN - Server LAN)）	複数のセグメント間のネットワーク時間をグラフ表示します。
トランザクション時間（クライアント エクスペリエンス）（Transaction Time (Client Experience)）	過去 24 時間の平均クライアント トランザクション時間（ミリ秒単位）をグラフ表示します。最適化されたトラフィックとパススルートラフィック（最適化が無効）で行が分かれています。最適化が有効になっている場合は、パススルー時間と比較して、最適化されたトラフィック時間の方が短くなっているはずです。
トラフィック量と圧縮率（Traffic Volume and Compression Ratio）	圧縮前のバイト数と圧縮後のバイト数の帯域幅減少率をグラフ表示します。

Prime Infrastructure Assurance ライセンスを購入して適用しない限り、マルチセグメント分析にアクセスすることはできません。候補サイトに WAAS が実装されていない場合は、WAAS モニタリング ダッシュレットに何もデータが表示されません。